

2020年8月27日

各位

東京高輪ゲートウェイ水素ステーションの開所について

当社（社長：大田 勝幸）は、本日、「東京高輪ゲートウェイ水素ステーション（東京都港区）」を開所しましたので、お知らせいたします。本ステーションは、燃料電池自動車（FCV）に水素を供給する、当社43カ所目の商用水素ステーションです。

当社は、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）から高輪ゲートウェイ駅に隣接する敷地の提供を受け、本ステーションの建設を進めてまいりました。

水素は、貯蔵が容易で災害時に強く※、利用時にCO₂を排出しない究極のクリーンエネルギーであることから、本ステーションは、同エリアの開発方針の1つである「地域の防災力強化と先導的な環境都市づくり」に貢献する拠点になると考えています。

東京2020オリンピック・パラリンピックゴールドパートナー（石油・ガス・水素・電気供給）である当社は、本ステーションを東京2020オフィシャル水素「ENEOS水素」を供給する拠点の一つとして大会の運営を支えるとともに、大会を契機として幅広い産業分野に水素が普及するよう、引き続き水素サプライチェーンの構築に積極的に取り組んでまいります。

※災害時には、FCVなどの燃料電池を非常用電源として利用することが可能。

<東京高輪ゲートウェイ水素ステーション概要>

開所日	2020年8月27日
所在地	東京都港区高輪3-27-78
運営者	株式会社 ENEOS 水素サプライ & サービス
敷地面積	867m ² （262坪）
供給方式	オンサイト方式（水素製造装置をステーション内に設置） 水素製造能力：300Nm ³ /h

◆ 東京 2020 大会用車両に水素を供給する当社水素ステーション（7カ所）

ステーション名称	所在地
① Dr. Drive セルフ潮見公園店 （福島県内で製造した水素の販売拠点）	東京都江東区
② 東京目黒水素ステーション	東京都品川区
③ 横浜綱島水素ステーション	神奈川県横浜市港北区
④ 千葉幕張水素ステーション	千葉県千葉市美浜区
⑤ 東京晴海水素ステーション（10月開所予定）	東京都中央区
⑥ 東京大井水素ステーション	東京都品川区
⑦ 東京高輪ゲートウェイ水素ステーション	東京都港区

※大会専用車両の運行ルート等によっては、上記以外の当社水素ステーションでも供給いたします。

◆ 当社が大会用車両に供給する水素について

当社が大会用車両に供給する水素の一部には、復興の地・福島県の「福島水素エネルギー研究フィールド」（福島県浪江町）において製造される再生可能エネルギー由来の水素を利用することで、東京 2020 大会を盛り上げていきます。



東京2020ゴールドパートナー
（石油・ガス・水素・電気供給）

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<ステーション外観>



以上

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS